

高校入試における各種技能検査(英語検定試験を含む)の活用

○ 高等学校の入学者選抜の改善について

- ・「高等学校の入学者選抜の改善について（平成9年11月28日付け文初高第243号初等中等教育局長通知）」

2 高等学校の入学者選抜の改善等のための今後の取組について

(1) 入学者選抜の改善について

ウ また、入学者選抜の資料・方法について、調査書と学力検査の比重の置き方の弾力化、調査書の評価の工夫、小論文・面接・実技検査の実施、**各種技能審査**や学校内外における文化活動・スポーツ活動・ボランティア活動などの積極的な評価と、そのための地域の社会教育関係団体等からの報告の活用、生徒が進学動機や中学校時代に主体的に学んだ事柄等を自ら記述した書類の活用、推薦入学の積極的な活用と改善など、様々な提言が行われており、これらの提言を参考としつつ、一層の選抜方法の改善に努めること。

○平成25年度高校入試における資格・検定試験等の活用状況

区分	調査対象数	調査対象校数のうち 推薦入試において 活用している数	調査対象校数のうち 一般入試において 活用している数
国立	12校	2校	1校
	100.0%	16.7%	8.3%
公立	全国47都道府県	0県	0県
	100.0%	0.0%	0.0%

(※)私立高校について、活用校の具体数は把握していないが、推薦入試では23都道府県、一般入試では21都道府県のうちの一部の私立高校において活用がなされている。

<文部科学省調査より>

大阪府立高等学校入学者選抜における英語資格（外部検定）の活用について

1 概要

大阪府立高等学校入学者選抜学力検査の教科「英語」において、TOEFL iBT などの外部機関が認証した英語力判定のスコア等を一定の得点率（下記※換算表参照）に基づき換算し、換算した得点と当日受験する学力検査の英語の得点とを比較し、高い方の得点をもとに最終的な学力検査の得点とする。

2 位置づけ

大阪府においては、英語の4技能を鍛えることが何よりも重要であると考え、小学校1年生から英語の音声・文字指導を開始する指導案を年内にも市町村教育委員会に示す予定をしている。

中学校の学習指導要領においては、英語の4技能を高めるように謳われているものの、これまでの高校の入学者選抜における学力検査においては、4技能を直接的に、かつ適切に測定する方法は開発できていない。今後は、英語の4技能を試す検査への移行が求められ、その実現に向けて研究および環境整備に努めていくことになるが、現時点では、すぐに4技能を試す検査を導入することは困難である。

今回のこの英語資格（外部検定）の活用は、上記の現状を補完し、一定の努力と実力を自ら証明した中学生に適正な評価を与え、大阪の児童・生徒の英語への学習意欲を高めるとともに、日本の英語教育が今後歩むべき方向性を示す意義を持つと考える。

3 具体的な内容・特徴

- * 入学者選抜において、受験者全員、従来通り学力検査を受験するので、既存の学力検査の枠組みに変化はない。
- * 外部機関が認証した英語力判定のスコア等が、すでに一定のレベルに達していることを出願時に申し出た受験生に対して、当該英語力判定のスコア等のレベルを大阪府教育委員会が定める換算表（下記※参照）に基づいて換算し、換算した得点と当日受験する学力検査の英語の得点と比較し、高い方の得点を、当該受験生の英語の学力検査の得点とする。
- * この検査方法は、大阪府立高等学校全校を対象に実施する。（当初は、グローバルリーダーズハイスクール 10 校や、国際関係学科の高校を受験する生徒が主に活用するであろうと想定している）。
- * この検査方法は、平成 29 年度入学者選抜（現在の小学校 6 年生が高等学校を受験する年度）から導入する。

※換算表

	TOEFL iBT	IELTS	英検	読み替え率
※大阪府立高校入学者選抜 教科「英語」	60 点	6	準 1 級	100%
	50 点	5.5	（対応無し）	90%
	40 点	5	2 級	80%

《換算に用いるテストは、英語 4 技能を試す内容が含まれていること、普及状況、および問題の質等を総合的に考慮して選ばれたテストである。具体的には、TOEFL iBT(主に米国の大学で使用)、IELTS(主に英国の大学で使用)、実用英語技能検定試験（英検）である》

- ・上記換算表は、英語教育の専門家、及び学校関係者等の意見を交え、さらに、さまざまなテストスコア比較換算資料を参照して、慎重な検討を経て大阪府教育委員会が作成したものである。

- ・上記換算表の作成に当たっては、現在大阪府立高等学校に在籍している生徒が、文理学科等に入学する際に受けた学力検査の得点と、高校在学中に取得した英検および TOEFL iBT における点数との相関関係も考慮している。
- ・今後、上記以外のテスト機関が開発した英語のテストについても、英語 4 技能を試す内容が含まれていること、普及状況、および問題の質等を総合的に考慮して、追加の外部検定として導入する予定である。

4 他教科における外部検定資格の可能性

＊今後、他教科（数学等）においても、客観的に教科の実力を証明できるテストがあれば、その導入についても検討して行く。

高等学校における資格・検定試験等の活用事例

○スーパーグローバルハイスクールにおける活用

平成26年度に新たに設置されたスーパーグローバルハイスクールにおける成果目標の1つとして「卒業時における生徒の4技能の総合的な英語力としてCEFRのB1～B2レベルの生徒の割合」を挙げている。

それを確認するために外部検定試験を活用することを計画している学校が見られる。

(例)

- ・ お茶ノ水女子大学附属高等学校 (TOEIC、TOEFL、IELTS等を活用)
- ・ 山口県立宇部高等学校 (TOEFL Junior、TOEFL iBTを活用)
- ・ 西大和学園高等学校 (英検準、TOEFL、GTEC、SLEP等を活用)

など

スーパーグローバルハイスクールについて

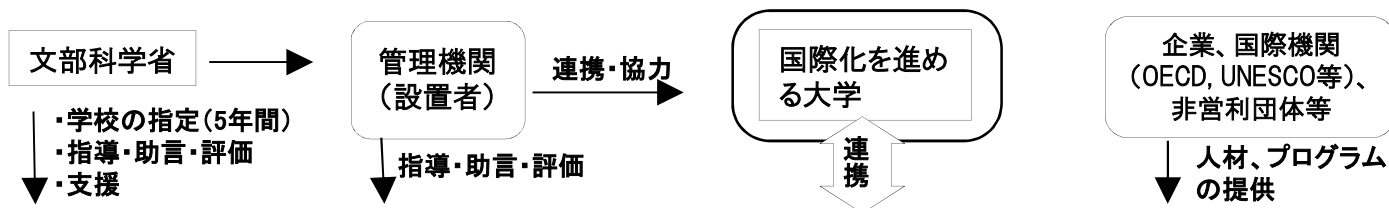
◆目的：急速にグローバル化が加速する現状を踏まえ、社会課題に対する関心と深い教養に加え、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的素養を身に付け、将来、国際的に活躍できるグローバル・リーダーを高等学校段階から育成する。

◆事業概要：国際化を進める国内の大学を中心に、企業、国際機関等と連携を図り、グローバルな社会課題を発見・解決できる人材や、グローバルなビジネスで活躍できる人材の育成に取り組む高等学校等を「スーパーグローバルハイスクール」に指定し、質の高いカリキュラムの開発・実践やその体制整備を進める。

指定期間：平成26年度より5年間

対象学校：国公立高等学校及び中高一貫教育校（中等教育学校、併設型及び連携型中学校・高等学校）

指定校数：計56校



スーパーグローバルハイスクール (SGH)

【主な取組】

- グローバル・リーダー育成に資する課題研究(例：国際的に関心が高い社会課題)を中心とした教育課程の研究開発・実践（教育課程の特例の活用を想定）
- グループワーク、ディスカッション、論文作成、プレゼンテーション、プロジェクト型学習等の実施(英語によるものも含む)
- 海外の高校・大学等(ESDを通じたユネスコスクールを含む。)と連携した課題研究に関するフィールドワーク、成果発表等のための海外研修
- 帰国・外国人生徒の積極的受入れ、大学との連携を通じた外国人留学生とのアカデミックなワークショップ
- 大学との連携を通じた、課題研究内容に関する専門性を有する帰国・外国人教員の活用

【大学との連携】

- 課題研究に関する指導を行う帰国・外国人教員等の派遣や、大学生によるサポート
- 国際展開を担当する部署との連携を通じた海外研修等の企画・立案に関するノウハウの伝授
- 入試の改善による生徒の学習内容の適切な評価
- 単位認定を含む高大連携プログラムの提供



グローバルな社会課題を発見・解決できる人材や、グローバルなビジネスで活躍できる人材（国際機関職員、社会起業家、グローバル企業の経営者、政治家、研究者等）の輩出

主な英語の資格・検定試験

試験名	実施団体	受験人数	年間 実施回数	成績 表示方法	出題形式 (*1)	受験料
実用英語技能検定	日本英語検定協会	約235.5万人 (H25実績)	3回	1級～5級(7つ) 合否による表示	R / L / (W) / (S) (*2)	1級 8400円 準1級 6,900円
TOEFL	テスト作成: ETS 日本事務局: CIEE	非公表	30－40回	0-120点 (4技能を各0-30点で評価)	R / L / W / S	225ドル
TOEIC	テスト作成: ETS 日本事務局: CIEE	約230.4万人 (H25年度実績) ※全世界では700万人	10回	10-990点	R / L	5,725円
TOEIC Speaking/Writing	テスト作成: ETS 日本事務局: IIBC	約1.1万人 (H25年度実績)	24回	0-400点	W / S	10,260円
IELTS	ブリティッシュ・カウンシル、 ケンブリッジ大学英語検定機構 本英語検定協会 等	約2.4万人 (H25見込み) ※全世界では200万人	約30回	1.0-9.0 (0.5刻み)	R / L / W / S	25,380円
ケンブリッジ英検	ケンブリッジ大学 英語検定機構	国内人数非公開 ※全世界では約250万人	2－3回	上初級～特上級(5つ) 合否、スコア(0-100)、グレード	R / L / W / S	FCE(B2) 19,980円 CAE(C1) 22,140円
GTEC	ベネッセコーポレーション	約2.0万人 (H24実績)	通年	0-1000点	R / L / W / S	12,960円
TEAP	日本英語検定協会	約0.3万人 (H26第1回申込者数)	3回	80-400点 (CEFRレベル表示もあり)	R / L / W / S	RLSW 15,000円

*1: R=Reading, L=Listening, W=Writing, S=Speaking

*2: Wは1級・準1級、Sは3級以上

(参考)外国語の学習・教授・評価のためのヨーロッパ共通参照枠について

- CEFR (Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment) は、語学シラバスやカリキュラムの手引きの作成、学習指導教材の編集、外国語運用能力の評価のために、透明性が高く、分かりやすい、包括的な基盤を提供するものとして、20年以上にわたる研究を経て策定された。欧州域内外で使われている。

- CEFR は「共通参照レベル」として、言語能力を
 - ・A1、A2レベル(基礎段階の言語使用者)
 - ・B1、B2(自立した言語使用者)
 - ・C1、C2(熟練した言語使用者)の6段階に分け、
 - ・「聞くこと」「読むこと」(＝「理解すること」)、
 - ・「やり取り」「表現」(＝「話すこと」)、
 - ・「書くこと」の5つの能力カテゴリーに分けて、言語活動の内容を表している。

- 欧州域内では、国により、CEFRの「共通参照レベル」が、初等教育、中等教育を通じた目標として適用されたり、欧州域内の言語能力に関する調査を実施するにあたって用いられたりするなどしている。

CEFR Scale

熟練した 言語使用者	C2	聞いたり読んだりした、ほぼ全てのものを容易に理解することができる。いろいろな話し言葉や書き言葉から得た情報をまとめ、根拠も論点も一貫した方法で再構築できる。自然に、流暢かつ正確に自己表現ができる。
	C1	いろいろな種類の高度な内容のかなり長い文章を理解して、含意を把握できる。言葉を探しているという印象を与えずに、流暢に、また自然に自己表現ができる。社会生活を営むため、また学問上や職業上の目的で、言葉を柔軟かつ効果的に用いることができる。複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細な文章を作ることができる。
自立した 言語使用者	B2	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な文章の主要な内容を理解できる。母語話者とはお互いに緊張しないで普通にやり取りができるくらい流暢かつ自然である。幅広い話題について、明確で詳細な文章を作ることができる。
	B1	仕事、学校、娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要な点を理解できる。その言葉が話されている地域にいるときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について、筋の通った簡単な文章を作ることができる。
基礎段階の 言語使用者	A2	ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、地元の地理、仕事など、直接的関係がある領域に関しては、文やよく使われる表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることができる。
	A1	具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることができる。自分や他人を紹介することができ、住んでいるところや、誰と知り合いであるか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりすることができる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助けが得られるならば、簡単なやり取りをすることができる。

(出典) ブリティッシュ・カウンシル、ケンブリッジ大学英語検定機構

(参考) 外国語の学習・教授・評価のためのヨーロッパ共通参照枠

Table 2. Common Reference Levels: self-assessment grid

		A1	A2	B1	B2	C1	C2
U N D E R S T A N D I N G	Listening	I can recognise familiar words and very basic phrases concerning myself, my family and immediate concrete surroundings when people speak slowly and clearly.	I can understand phrases and the highest frequency vocabulary related to areas of most immediate personal relevance (e.g. very basic personal and family information, shopping, local area, employment). I can catch the main point in short, clear, simple messages and announcements.	I can understand the main points of clear standard speech on familiar matters regularly encountered in work, school, leisure, etc. I can understand the main point of many radio or TV programmes on current affairs or topics of personal or professional interest when the delivery is relatively slow and clear.	I can understand extended speech and lectures and follow even complex lines of argument provided the topic is reasonably familiar. I can understand most TV news and current affairs programmes. I can understand the majority of films in standard dialect.	I can understand extended speech even when it is not clearly structured and when relationships are only implied and not signalled explicitly. I can understand television programmes and films without too much effort.	I have no difficulty in understanding any kind of spoken language, whether live or broadcast, even when delivered at fast native speed, provided I have some time to get familiar with the accent.
	Reading	I can understand familiar names, words and very simple sentences, for example on notices and posters or in catalogues.	I can read very short, simple texts. I can find specific, predictable information in simple everyday material such as advertisements, prospectuses, menus and timetables and I can understand short simple personal letters.	I can understand texts that consist mainly of high frequency everyday or job-related language. I can understand the description of events, feelings and wishes in personal letters.	I can read articles and reports concerned with contemporary problems in which the writers adopt particular attitudes or viewpoints. I can understand contemporary literary prose.	I can understand long and complex factual and literary texts, appreciating distinctions of style. I can understand specialised articles and longer technical instructions, even when they do not relate to my field.	I can read with ease virtually all forms of the written language, including abstract, structurally or linguistically complex texts such as manuals, specialised articles and literary works.
S P E A K I N G	Spoken Interaction	I can interact in a simple way provided the other person is prepared to repeat or rephrase things at a slower rate of speech and help me formulate what I'm trying to say. I can ask and answer simple questions in areas of immediate need or on very familiar topics.	I can communicate in simple and routine tasks requiring a simple and direct exchange of information on familiar topics and activities. I can handle very short social exchanges, even though I can't usually understand enough to keep the conversation going myself.	I can deal with most situations likely to arise whilst travelling in an area where the language is spoken. I can enter unprepared into conversation on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (e.g. family, hobbies, work, travel and current events).	I can interact with a degree of fluency and spontaneity that makes regular interaction with native speakers quite possible. I can take an active part in discussion in familiar contexts, accounting for and sustaining my views.	I can express myself fluently and spontaneously without much obvious searching for expressions. I can use language flexibly and effectively for social and professional purposes. I can formulate ideas and opinions with precision and relate my contribution skilfully to those of other speakers.	I can take part effortlessly in any conversation or discussion and have a good familiarity with idiomatic expressions and colloquialisms. I can express myself fluently and convey finer shades of meaning precisely. If I do have a problem I can backtrack and restructure around the difficulty so smoothly that other people are hardly aware of it.
	Spoken Production	I can use simple phrases and sentences to describe where I live and people I know.	I can use a series of phrases and sentences to describe in simple terms my family and other people, living conditions, my educational background and my present or most recent job.	I can connect phrases in a simple way in order to describe experiences and events, my dreams, hopes and ambitions. I can briefly give reasons and explanations for opinions and plans. I can narrate a story or relate the plot of a book or film and describe my reactions.	I can present clear, detailed descriptions on a wide range of subjects related to my field of interest. I can explain a viewpoint on a topical issue giving the advantages and disadvantages of various options.	I can present clear, detailed descriptions of complex subjects integrating sub-themes, developing particular points and rounding off with an appropriate conclusion.	I can present a clear, smoothly flowing description or argument in a style appropriate to the context and with an effective logical structure which helps the recipient to notice and remember significant points.
W R I T I N G	Writing	I can write a short, simple postcard, for example sending holiday greetings. I can fill in forms with personal details, for example entering my name, nationality and address on a hotel registration form.	I can write short, simple notes and messages relating to matters in areas of immediate need. I can write a very simple personal letter, for example thanking someone for something.	I can write simple connected text on topics which are familiar or of personal interest. I can write personal letters describing experiences and impressions.	I can write clear, detailed text on a wide range of subjects related to my interests. I can write an essay or report, passing on information or giving reasons in support of or against a particular point of view. I can write letters highlighting the personal significance of events and experiences.	I can express myself in clear, well-structured text, expressing points of view at some length. I can write about complex subjects in a letter, an essay or a report, underlining what I consider to be the salient issues. I can select style appropriate to the reader in mind.	I can write clear, smoothly flowing text in an appropriate style. I can write complex letters, reports or articles which present a case with an effective logical structure which helps the recipient to notice and remember significant points. I can write summaries and reviews of professional or literary works.

各試験団体のデータによるCEFRとの対照表

CEFR	英検	GTEC CBT	TOEFL iBT	IELTS	TEAP	ケンブリッジ 英検	TOEIC & TOEIC SW
C2				8.5-9.0		Proficiency (CPE: 特上級)	
C1	1級	1400	110-120	7.0-8.0	396	Advanced (CAE: 上級)	1305-1390
B2	準1級	1250- 1399	87-109	5.5-6.5	334	First (FCE: 上中級)	1095-1300
B1	2級	1000- 1249	57-86	4.0-5.0	226	Preliminary (PET: 中級)	790-1090
A2	準2級	700-999		3.0	186	Key (KET: 上初級)	385-785
A1	3級-5級	-699		2.0			200-380

英検: 日本英語検定協会 <http://www.eiken.or.jp/forteachers/data/cefr/>

TOEFL: ETS http://www.ets.org/Media/Research/pdf/CEF_Mapping_Study_Interim_Report.pdf

IELTS: プリティッシュ・カウンシル(および日本英語検定協会)資料より

ケンブリッジ英検: ケンブリッジ大学英語検定機構 <http://www.cambridgeenglish.org/exams-and-qualifications/cefr/cefr-exams/>

TEAP: 第1回 英語力の評価及び入試における外部試験活用に関する検討会 吉田研作教授資料より

GTEC : ベネッセコーポレーションによる資料より

TOEIC : IIBC <http://www.toeic.or.jp/toeic/about/result.html>

※各試験団体の公表資料より文部科学省において作成

主な英語の資格・検定試験

試験名	実施主体	主な目的	主な受験者層	受験人数	実施回数	成績の表示方法	出題形式	受験料
実用英語技能検定	公益財団法人 日本英語検定協会	日常生活から広く社会生活 が必要とされている英語力 を7段階のレベル(級)に分 けて評価。 ・350以上の海外大学にお いて入学資格として認定。	・小学生 ・中学生 ・高校生 ・大学生 ・社会人	約235.5万人 (H25実績)	3回／年	・1級から5級(7つの級)で合否による成 績表示。	◆一次試験 ・リーディング／リスニング／ライティング ※2級～5級は全てマークシート形式 ※1級・準1級はライティングが追加され記述形式 ◆二次試験 ・スピーキング ※3級以上面接方式	・1級:8,400円 ・準1級:6,900円 ・2級:5,000円(4,600円) ・準2級:4,500円(4,100円) ・3級:3,200円(2,800円) ・4級:2,100円(1,600円) ・5級:2,000円(1,500円) ※括弧内は、準会場受験の場合
TOEFL® テスト (TOEFL iBT®)	テスト制作は、米国のEducational Testing Service(ETS) (日本では国際教育交換協議会 (CIEE)日本代表部がTOEFLテスト 事務局として広報・周知活動を実 施。)	英語を母国語としない人の 英語能力を測定 ・留学 ・オーストラリアビザ申請条 件	・高校生 ・大学生 ・社会人	非公表 (全世界統一)	30～40回／年	・0～120点(4技能を各0～30点で評価) ・合否判定無 ・受け入れ機関(TOEFLテストスコア利 用団体)がスコアを設定	インターネット形式 ・リーディング／リスニング／スピーキング(マイク 利用)／ライティング(タイピング) (スピーキング、ライティングには、読んで聞いて 話す、聞いて話す、もしくは読んで聞いて書く、の 複合技能測定問題が含まれる。)	通常申込 US225 ^{ドル} (毎年7月に改定可能性有) (国により受験料は異なる) (金額はドル表示であるが、支払時に 日本円表記のオプションあり)
TOEIC®テスト (リスニングテスト/ リーディングテスト)	テスト制作は、米国のEducational Testing Service(ETS) (日本では一般財団法人 国際ビ ジネスコミュニケーション協会が実 施)	・一般からビジネスまで幅 広い英語によるコミュニ ケーション能力(「聞く、読 む」能力)を測定する。 ・採用学校803校中405校 (大学・短大・高専)で入学 試験に活用。	・高校生 ・大学生 ・社会人	高校・大学・団体・企業3400団 体で約230万4千人(平成25年 度実績) ※全世界では150カ国、約700 万人	【公開テスト】10回／年 【団体特別受験制度】 団体内で任意の日程で実施。	・リスニングスコア5～495点 ・リーディングスコア5～495点 ・トータルスコア10～990点	・リスニング／リーディング (マークシート方式)	公開テスト 5,725円(税込) IPテスト(団体特別受験制度) 4,155 円(税込) ※上記は平成26年4月実施分からの 料金
TOEIC® スピーキングテスト/ ライティングテスト	テスト制作は、米国のEducational Testing Service(ETS) (日本では一般財団法人 国際ビ ジネスコミュニケーション協会が実 施)	国際的な職場環境におい て、効果的に英語でコミュニ ケーションするために必要 な「話す、書く」能力を測定 する。	・高校生 ・大学生 ・社会人	企業・団体・学校160団体で約 1万1千人(平成25年度実績) ※全世界では25カ国	【公開テスト】24回／年 毎月土曜または日曜の午前・午後1 回ずつ 【団体特別受験制度】 団体内で任意の日程で実施。	・スピーキングスコア 0～200点 ・ライティングスコア 0～200点	・スピーキング パソコン上で音声吹き込む ・ライティング パソコン上で文章を入力	公開テスト 10,260円(税込) IPテスト(団体特別受験制度) 9,050円(税込) ※IPテストではスピーキング／ライ ティング 個別に受験の場合、各6,170円(税込) ※上記は平成26年4月実施分からの 料金
IELTS	ブリティッシュ・カウンシル、 IDP(IELTS オーストラリア)、ケン ブリッジ大学英語検定機構 (日本では公益財団法人 日本英 語検定協会)	・留学、海外移住、大学英 語教育の効果測定など	・高校生 ・大学生 ・社会人	約2万4千人(H25実績) ※全世界では130カ国、約200 万人	公開会場は全国13会場設定があり、 実施回数は都市により異なる。(東京 では年約30回実施。横浜、大阪、名古屋、 福岡では毎月実施) 特別会場実施は東大・京大・阪大・名 大等全国約40の主要大学・教育機関 にて実施。	・1.0から9.0までの0.5刻みで成績表示 (1.0 = Non-user～9.0 = Expert user)	・リーディング&リスニング (解答用紙への記述) ・ライティング (解答用紙への記述) ・スピーキング (1対1の面接方式)	25,380円
ケンブリッジ英検 Cambridge English	ケンブリッジ大学英語検定機構	日常生活のコミュニケーション や、留学・仕事で成功す るために必要な英語力を測定。 また英国、アイルランド、豪州の査証申請に活用 できる。	中学生 高校生 大学生 社会人	世界で年間250万人	年間2～3回 (2014年は全国11都市で実施。年間実 施回数は試験センターにより異なる)	・合否および各級(上初級～特上級)に おける0～100点のスコア、スコアに応じ たグレードで評価される ・級は、CEFR-A2レベルの「KET」(上初 級)からCEFR-C2レベルの「CPE」(特上 級)まで5つある	【ファースト(FCE: B2レベル)の場合】 ・リーディング&文法・語彙(多肢選択、空所補充な ど) ・ライティング(140～190語の記述を2課題) ・リスニング(多肢選択、記述による空所補充) ・スピーキング(試験官2名、受験者2名で14分間 実施。試験官と受験者、受験者間のやりとりを評 価する。	【参考価格】 KET(A2) 9,720円～ PET(B1)11,880円～ FCE(B2)19,980円～ CAE(C1)22,140円～ CPE(C2)25,380円～ ※実施する試験センターにより異な ることがあります。
GTEC for STUDENTS	ベネッセコーポレーション Berlitz Corporation ELS Educational Services (日本では一般財団法人進学基準 研究機構(CEES)が実施予定)	・大学での入学資格認定 ・英語運用力の測定 ・学校における技能別指導 検証	・中学生 ・高校生	約66万人／約1,300校 (H25実績)	統一検定日は7月・12月 実施は通年で可能。	・グレード1～7 ・スコア0～810 グレード1(～299)＝挨拶程度のコミュニ ケーションができるレベル グレード7(710～810)＝大学での専門 教育を英語で学べるレベル	・リーディング(多肢選択) ・リスニング(多肢選択) ・ライティング(自由記述) ・スピーキング(発話)※オプション	3,080円 ※学校申込
GTEC	ベネッセコーポレーション Berlitz Corporation ELS Educational Services (日本では一般財団法人進学基準 研究機構(CEES)が実施予定)	・英語による総合的なコミュ ニケーション能力を測定	・大学生 ・社会人	約2万人(H24実績)	通年	・スコア0～1000	・リーディング(多肢選択) ・リスニング(多肢選択) ・ライティング(記述) ・スピーキング(発話) ※4技能ともコンピュータで実施	12,960円 ※個人申込
TEAP	公益財団法人 日本英語検定協会 ※上智大学と共同開発	・大学教育レベルにふさわ しい英語力の測定	・高校3年生 以上	約3,000人(H26第1回申込者 数) (上智大学AO入試および推薦 入試としての実績)	・2014年度は年間3回全国7都市で実 施(リーディング&リスニング 7月・9月・ 12月)。 ※スピーキングとライティングは2014年 度は東京・名古屋で実施。2015年度よ り全国で実施予定。	スコアと世界的に利用されているCEFR による成績表示(4段階: Below A2=準2 級未満、A2=準2級程度、B1=2球程度、 B2=準1級程度)・スコアは各技能別 に20～100。	・リーディング&リスニング (マークシート方式) ・スピーキング(1対1の面接方式) ・ライティング(解答用紙への記述)	・RL:6000円 ・RLW:10,000円 ・RLSW:15,000円

(参考)

各資格・検定試験団体作成資料

- 入試等における利用状況 -

□ 2014 年度 入試における英検資格の優遇措置

※優遇措置の種類に関する説明は 15 ～ 16 ページをご覧ください。

大学入試

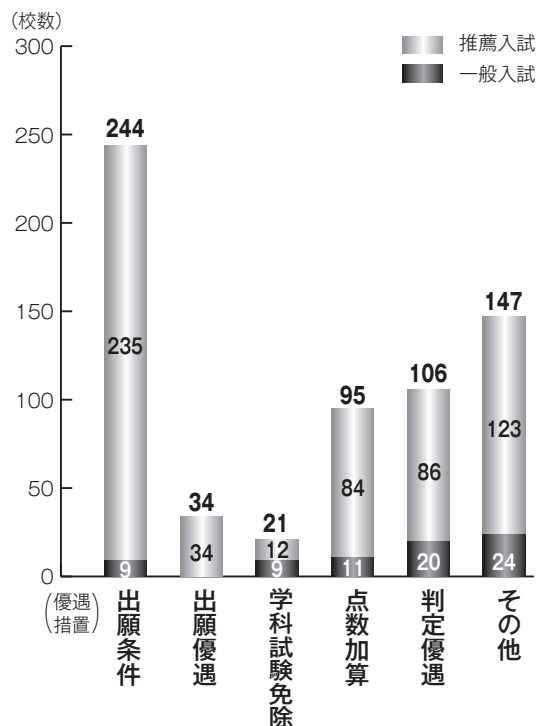
2014 年度入試において、英検の取得資格に対する優遇措置を行った大学は、一般入試 63 大学、推薦入試 356 大学で、延べ 419 大学（国立 15 校、公立 20 校、私立 383 校、その他 1 校）となっています。

優遇措置の内容では（図 1）のグラフが示すとおり、英検の取得資格を《出願条件》とする優遇が計 244 校と最も多くなっています。次いで、《その他》（《出願条件》《出願優遇》《学科試験免除》《点数加算》《判定優遇》のいずれにも当てはまらない入試における優遇措置や入学後の学費免除等）が多く、147 校となっています。合格者決定に際して、所定の英検資格者について優遇・考慮する《判定優遇》がこれに続き、106 校です。

入学試験において英検資格に対する何らかの優遇措置のある 419 大学のうち、「公表可」とする延べ 392 大学につきましては 18 ～ 42 ページに掲載しました。

大学入試における英検資格の優遇措置内訳

（図 1）



※校数は各優遇措置・入試区分を全て計上した複数回答を含む延べ校数になっています。

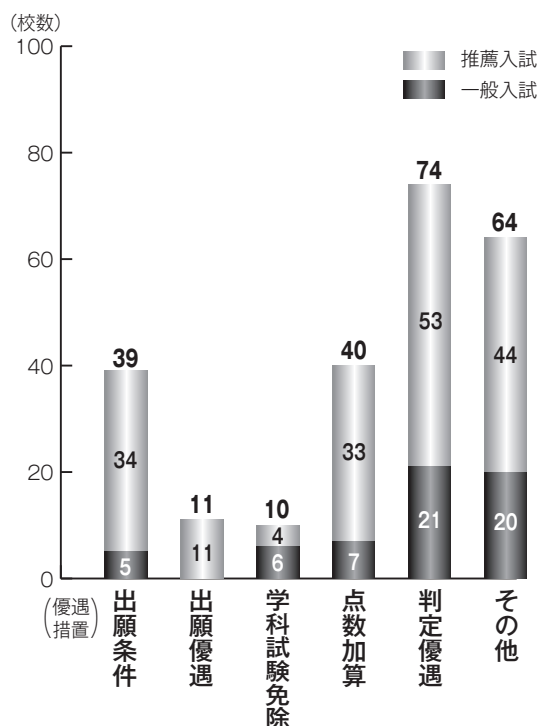
短大入試

2014 年度入試において、英検の取得資格に対する優遇措置を行った短期大学は、一般入試 56 短大、推薦入試 151 短大で、延べ 207 短大（公立 6 校、私立 201 校）となっています。

優遇措置の内容では（図 2）のグラフが示すとおり、英検の取得資格を合格判定に加味する《判定優遇》が最も多くなっています。次いで、《その他》（《出願条件》《出願優遇》《学科試験免除》《点数加算》《判定優遇》のいずれにも当てはまらない入試における優遇措置や入学後の学費免除等）が多く、64 校となっています。

短大入試における英検資格の優遇措置内訳

（図 2）



※校数は各優遇措置・入試区分を全て計上した複数回答を含む延べ校数になっています。

高等専門学校入試

高等専門学校の入試においても、英検の取得資格に対する優遇措置が行われています。2014年度では、所定の英検資格取得者について、その資格を点数化して入試の得点や評定平均値に加算する《点数加算》の優遇が計9校と最も多くなっています。

高校入試

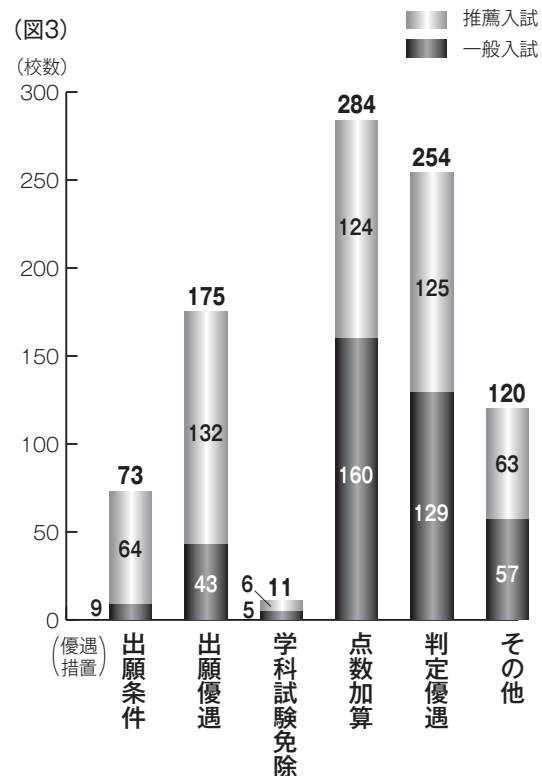
2014年度入試において英検の取得資格に対する優遇措置を行った高校は、今年度は一般入試352校、推薦入試406校、延べ758校（国公立230校、私立528校）となりました。入試形態が多様化する中、高校の入学者選抜において、客観的な基準としての「英検取得級」が、重要な位置を占めていると考えられます。

「公表可」とする延べ618校については54～83ページに具体的な優遇内容を掲載しました。国公立高校においても優遇措置を実施していたり、検討を進めたりしている例が全国的に少なくないようです。

社会人・他入試、編入学

社会人・他入試、編入学における、英検の取得資格に対する優遇措置の実態は84～89ページに掲載しました。生涯学習社会の発展に伴い、英語力の客観的尺度としての英検を、入試における判定材料に活用する傾向はさらに強まることが予想されます。

高校入試における英検資格の優遇措置内訳



※校数は各優遇措置・入試区分を全て計上した複数回答を含む延べ校数になっています。

中学入試

小学校での外国語活動の動向、ならびに小学生英検受験者の増加を踏まえて、今年度より新たに、中学校における優遇措置に関する調査を開始しました。

調査の結果、2014年度入試において、英検の取得資格に対する優遇措置を行った中学校（中等教育学校含む）は延べ76校存在し、入試の募集形式の内訳は、一般入試43校、推薦入試8校、帰国子女入試12校、その他入試13校となりました。

優遇措置の内容では（図4）が示すとおり、合格者決定に際して、所定の英検資格者について優遇、考慮する《判定優遇》が、延べ校数で43校と最も多く、次いで《その他》14校、《出願条件》13校、《点数加算》10校、《出願優遇》4校の順となりました。

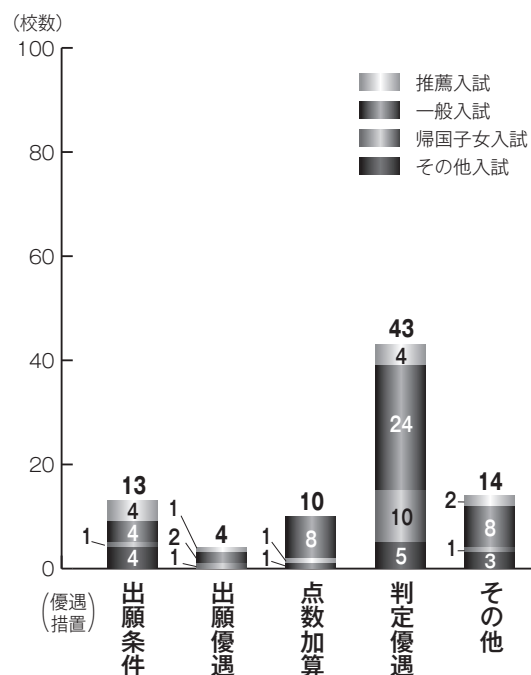
国・公・私立の内訳については、公立学校3校を除き、全てが私立学校であることが分かりました。

優遇措置があり公表許可を得た延べ65校の一覧、ならびに各校の詳しい優遇内容は、136～138ページに掲載しています。

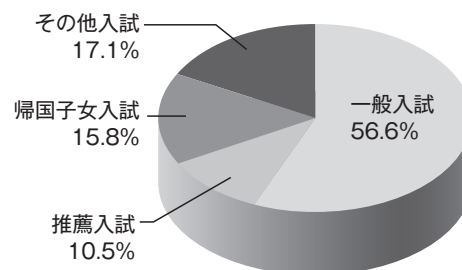
なお、優遇措置があると回答した学校のうち、2校に対して「入学基準として英検を採用した理由」、「導入後の効果」などについて取材すると同時に、英検優遇措置のある入試を利用して入学した生徒にも、「受験のきっかけ」や「入試対策」についてヒアリングを行いました。取材結果については「英検優遇事例 特集 中学校編」として10～13ページに掲載しています。

中学入試における英検資格の優遇措置内訳

（図4）



※校数は各優遇措置・入試区分を全て計上した複数回答を含む延べ校数になっています。



2014年度入試 英検資格の入試優遇校数

〈2014年3月14日現在〉

学校区分	入試区分		出願条件	出願優遇	学科試験免除	点数加算	判定優遇	その他
大学……………419校 (国立15・公立20・私立383・その他1)	一般	63	9	—	9	11	20	24
	推薦	356	235	34	12	84	86	123
短大……………207校 (公立6・私立201)	一般	56	5	—	6	7	21	20
	推薦	151	34	11	4	33	53	44
高専……………17校 (国立15・私立2)	一般	7	—	—	2	2	—	3
	推薦	10	1	1	—	7	1	2
国公立高校……………230校 (公立230)	一般	129	2	—	—	65	40	27
	推薦	101	21	2	—	16	47	18
私立高校……………528校	一般	223	7	43	5	95	89	30
	推薦	305	43	130	6	108	78	45
中学校……………76校 (公立3・私立73)	一般	43	4	2	—	8	24	8
	推薦	8	4	1	—	—	4	2
	帰国子女	12	1	1	—	1	10	1
	その他	13	4	—	—	1	5	3

※学校区分の校数は一般入試、推薦入試（中学校では帰国子女、その他を含む）のそれぞれの延べ校数。「出願条件」など六つの優遇措置は複数回答を含む延べ校数。

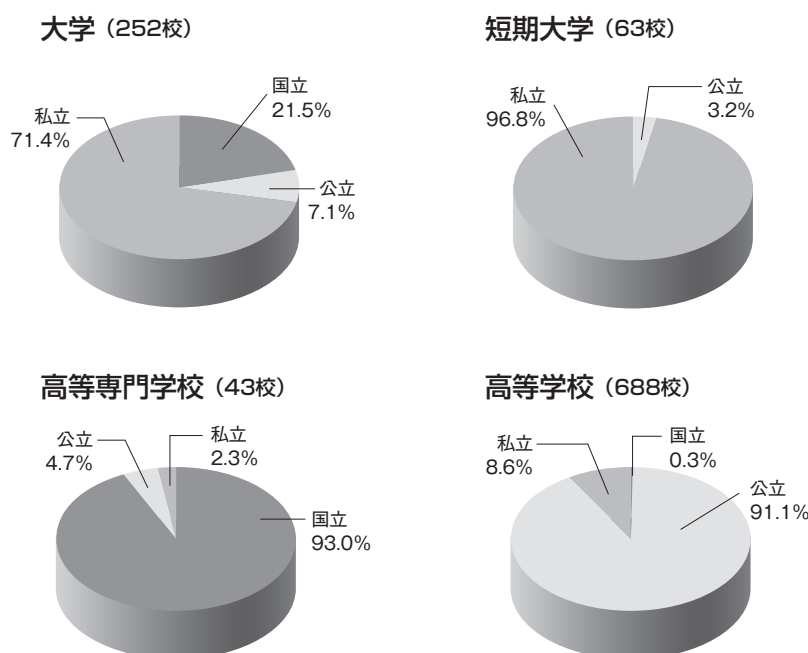
□ 2013 年度 英検資格単位認定校

2013 年度は、大学 252 校、短大 63 校、高等専門学校 43 校、高校 688 校において、在学生に対し、英検資格が単位として認定されています。

このうち「公表可」とする学校について、92 ～ 133 ページで一覧にしていますが、認定する級位と単位数のみの掲載となっており、科目名は割愛してありますので、ご了承ください。

なお、資格取得時期に条件が設けられている場合もございますので、ご注意ください。

■ 2013 年度 英検資格の単位優遇校数



〈2014 年 3 月 14 日現在〉

大学	国立	54
	公立	18
	私立	180
	計	252
短大	公立	2
	私立	61
	計	63
高専	国立	40
	公立	2
	私立	1
	計	43
高校	国立	2
	公立	627
	私立	59
	計	688
総計		1,046

●その他ご案内・注意事項

1. 英検の資格で行ける海外の学校

英検資格は国内のみならず、海外の各種教育機関でも、入学資格として認定されています。英検を認定している海外の各学校の一覧を、140 ～ 143 ページに掲載しておりますので、留学に興味のある方は、ご確認ください。

2. INDEX

巻末の INDEX（索引）には、全掲載校が県別や 50 音順に整理されています。志望校の優遇状況を把握・検索する際に、ご活用ください。

3. 英検ウェブサイトでの優遇校検索

本書に掲載されている優遇情報（中学入試を除く）は、英検ウェブサイトでも検索が可能です。複数の条件を組み合わせて検索ができたりと、大変便利ですので、ご活用ください。

<http://www.eiken.or.jp/eiken/merit/privilege/>

4. 注意事項

掲載されている情報は、2014 年 3 月 14 日現在のものです。また、入試優遇については、2014 年度入試、単位優遇については、2013 年度の状況を掲載しています。2015 年度入試や 2014 年度単位認定など、最新の情報を把握される際は、各学校の発表している募集要項やウェブサイトなどをご確認ください。